

中扉には、学習の目標と教材を生き物たちの姿と共に示している。身につけたい力を確かめ、学習を進めていこう。



1 広がる学びへ



2 多様な視点から



3 言葉と向き合う



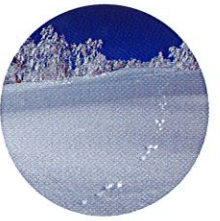
4 関わりの中で



5 いにしえの心を訪ねる



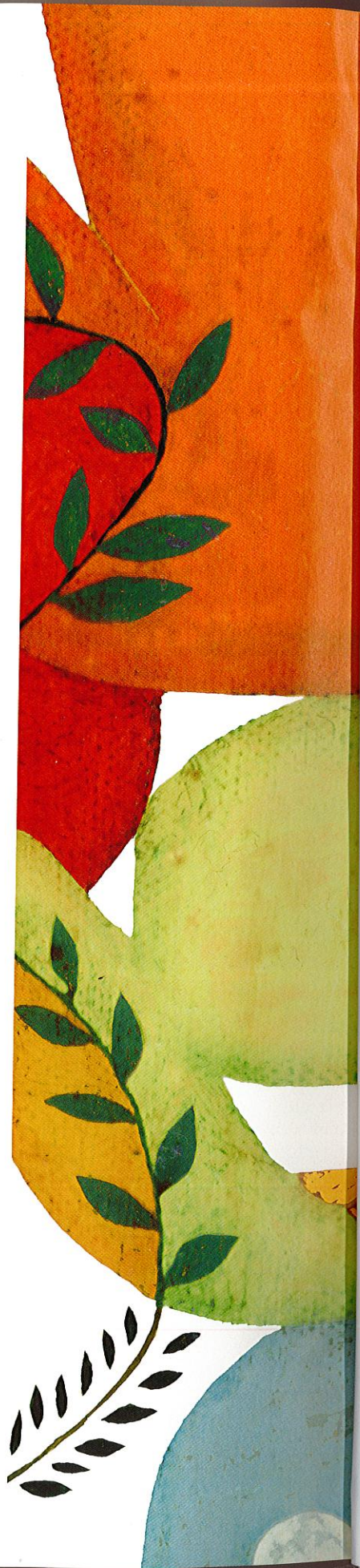
6 論理を捉えて



7 表現を見つめて



文法／漢字に親しもう



国語 2

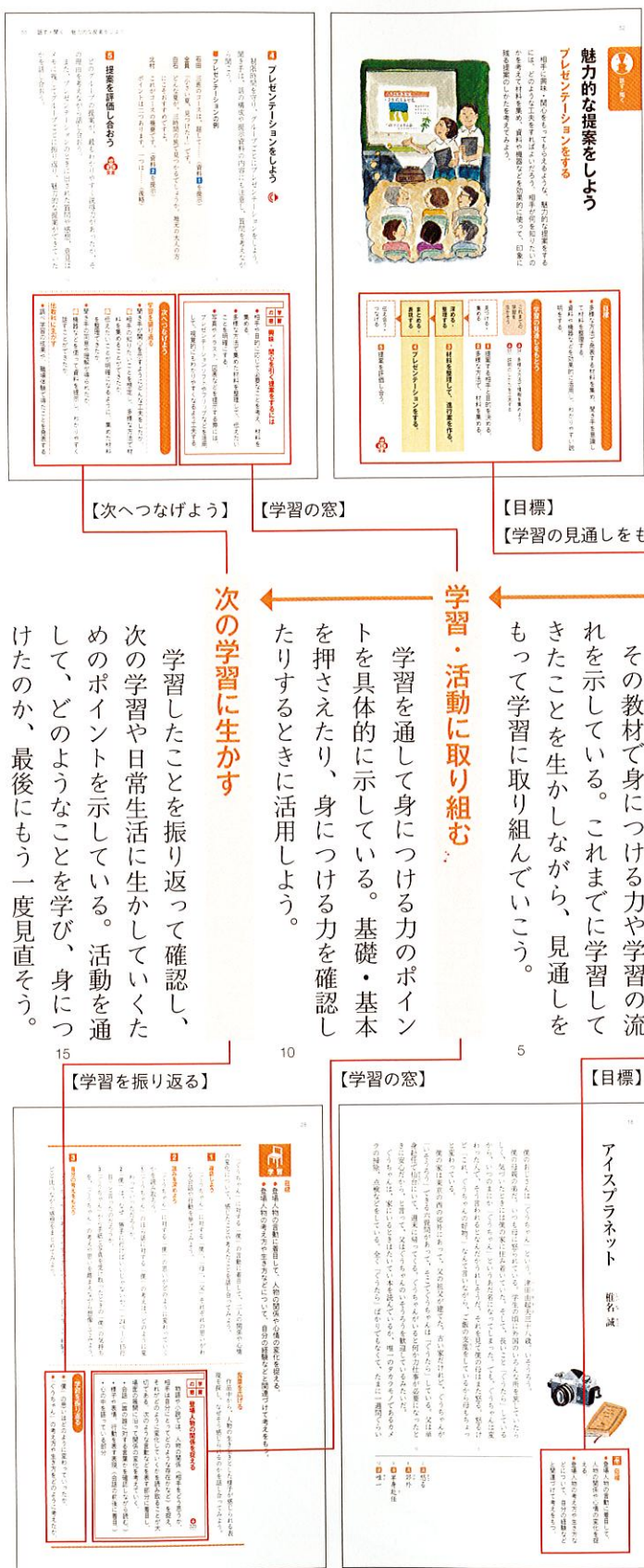
光村図書

この教科書で学習する みなさんへ

この教科書を使うみなさんが、見通しをもって、主体的に学習に取り組んだり、振り返ったりするとき役立つ教科書の機能を説明している。効果的に学習を進めるために活用しよう。

主な教材の構成と学習の流れ

話す・聞く 書く



効果的な学習のために

全体の見通しをもつ

- ▼ 学習の見通しをもとう (8ページ)
- ▼ 学習のための用語一覧 (324ページ)
教科書全体での学習活動を見通すために、一年間で学習する言葉の力や用語を一覧で示している。身につける力を確認したり、学習計画を立てたり、学習を振り返ったりするときに活用しよう。

「話す・聞く」「書く」の力を磨く

- ▼ 練習 話す・聞く (30・165ページ)
書く (51・111・171ページ)

生活の中のひとこまを例に、「話す・聞く」「書く」の基本的な力をつける学習のページ。他の教材を学ぶときに役立てよう。

読みの基本を確認する

- ▼ 文学的な文章を読むために (325ページ)
- ▼ 説明的な文章を読むために (327ページ)
作品や文章をより深く読み取るために、基本的な用語を確認しよう。

読書の世界を広げる

- ▼ 読書生活を豊かに (75ページ)
- ▼ 読書に親しむ (179ページ)

読む

アイスプラネット 植名 誠

【目標】

【学習の窓】

【学習の窓】

【学習を振り返る】

主な記号

交流

課題について確認し合ったり、感想を述べ合ったりする場。

音声教材

CDなどを利用する学習。

参考にした表現

話すとき、書くときに役立つ表現。

新出漢字・新出音訓

その教材で学習する漢字、漢字の読み方。

注意する語句

その教材に使われている重要な語句。

意味を調べる。 短文を作る。

類義語を調べる。 対義語を調べる。

関連語句を確認する。

広がる読書 (教材末)

教材と同じ著者・テーマの本の紹介。

関連するページ

関連して学習すると効果的なページを示す。

メディアの特徴を知る

- ▼ メディアと上手に付き合うために (56ページ)
- ▼ 情報コラム (60ページ)
さまざまなメディアの特徴を知り、適切な情報の選び方について学習しよう。

言葉を楽しむ・言葉を学ぶ

- ▼ 季節のしおり (31・90・130・190ページ)
言葉や表現の豊かな広がりを読み味わおう。

文法への扉・文法・言葉・漢字

言葉の決まりや語句・漢字について知識を整理しよう。「文法への扉」は、巻末の「文法」と共に学習しよう。

〇〇に生かす

他領域や他教科、生活の中などで活用できる事項をまとめています。

報告	創作・物語	表現の工夫	意見	意見	古典関連	手紙	推敲	創作・物語	創作・短歌	説明	紹介	古典関連	書くこと
一年間の学びを振り返ろう 国語学習の報告書をまとめる	表現のしかたを工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	文章の形式を選び、表現を工夫して書く 文章の形式を明確にして意見を書く	根拠を明確にして意見を書く 意見文を書く	練習 意見文の説得力を考える	練習 人物の特徴を捉えて論じよう	練習 気持ちを込めて書く 手紙を書く	練習 推敲して適切な文章に直す	練習 言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	練習 短歌を創作しよう	練習 説明のしかたを工夫する	練習 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	練習 自分流「枕草子」を書く	教材
228	212	209	172	171	145	112	111	69	67	51	34	33	
			✿								✿		課題の設定・取材 社会生活の中から課題を決める
✿								✿			✿		多様な方法で材料を集め 自分の考えをまとめる
✿			✿	✿	✿	✿			✿				構成 自分の立場や伝え たいことを明確にする
✿	✿	✿	✿							✿		✿	文章の構成を工夫する
✿			✿	✿		✿				✿	✿		記述 効果的に伝えるため に説明や具体例を工夫する
	✿	✿						✿	✿			✿	描写を工夫して書く
						✿	✿						推敲 語句や文の使い 方に注意する
													段落相互の関係に注意 する
✿	✿				✿							✿	交流 書いた文章を互いに 読み合い自分の考えを広げる
✿	✿												学習のポイント ●印は、「学習の窓」で 解説している事柄
✿	✿												構成や描写を工夫して 書く ●情報を集め、考えをま とめる ●適切な説明のしかたを 工夫する ●表現を工夫して短歌を 創作する ●似た気持ちを表す言葉 を使い分け、物語を書く ●言葉遣いや表記を推敲 する ●相手や目的を考えて手 紙を書く ●古典の登場人物の特徴 について論じる ●意見を支える根拠につ いて考える ●意見と根拠が明確な意 見文を書く ●文章の形式に応じた表 現のしかたを工夫する ●描写を工夫して書く ●交流して自分の考えを 広げ、文章に生かす

学習の見通しをもと

- 一年間でどんな学習をし、どんな言葉の力に身につけるか見通そう。
- 学習計画を立てたり、振り返って次の活動に生かしたりするときに活用しよう。

説明・発表	討論	話し合い	説明・発表	聞く	話すこと 聞くこと
一年間の学びを振り返ろう 国語学習の報告書をまとめる	話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする	練習 相手の考えを踏まえて発言する	魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	練習 要点を整理して聞き取る	教材
228	166	165	52	30	
	✿				話題の設定・取材 社会生活の中から話題を決める
✿			✿		多様な方法で材料を集め 整理する
	✿		✿		話す 異なる立場や考えを 想定して考えをまとめる 論理的な構成や展開を考え て話す（話の中心とそれを 支える部分） 資料や機器を効果的に活用 する
✿			✿		聞く 論理的な構成や展開 に注意して聞く
✿	✿	✿			相手の話を自分の考えと比 較して聞く
	✿	✿			話し合う 相手の立場や考えを尊重する
✿	✿				互いの発言を検討し、自分 の考えを広げる
✿	✿				学習のポイント ●印は、「学習の窓」で 解説している事柄
資料を効果的に使って 説明する	話し合って考えを広げ る	相手の考えを踏まえ、 尊重しながら発言する	興味・関心を引く提案 をする	話の要点や順序を整理 してメモを取る	

どんな学習をするのか見通してみよう

何度も繰り返して積み重ねながら、言葉の力をつけていこう



読書・情報				説明・論説・評論				読むこと			
読書コラム	読書案内	読書活動	情報コラム	情報	論説	ノンフィクション	評論				
たまには、少し変わった本を	本の世界を広げよう 86・187	二年一組のお薦め三十五冊 読書案内を作ろう 84	著作権について知る 60	メディアと上手に付き合うために 56	科学はあなたの中にある 218	小さな町のラジオ発 — 臨時災害放送局「りんごラジオ」 180	君は「最後の晩餐」を知っているか 157	モアイは語る — 地球の未来 116	生物が記録する科学 — バイオロギングの可能性 42	教材 	
					✳			✳		語句の理解 抽象的な概念を表す語句	
					✳			✳		文章の理解 全体と部分の関係	
					✳		✳	✳		例示の効果	
								✳	✳	自分の考えをもつ 文章の構成や展開について	
		✳					✳			表現の特徴について根拠 を明確にしてまとめる	
✳	✳			✳	✳	✳	✳	✳	✳	文章に表れたものの見方・ 考え方について考える	
✳	✳	✳	✳	✳		✳				読書と情報 適切な情報 を得て考えをまとめる	
読書への興味をもつ				本のに関する情報を多様な方法で収集する				学習のポイント ●印は、「学習の窓」で 解説している事柄			
著作権について理解を深める				メディアの特徴を知り、適切な情報を 選んで活用する				● 論の展開に着目して筆者の主張を捉える ● 評論を読む			
自分の知識や体験と比べて考える				筆者の考え方について自分の考えをもつ				● 説明のしかたの特徴を捉える			

古典 (伝統的な言語文化)				文学								読むこと				
漢詩・解説	古文	古文	古文・音読	古文	詩	小説	詩	随筆	小説	物語	随筆		短歌	短歌・解説	小説	詩
漢詩の風景	仁和寺にある法師	扇の的 — 「平家物語」から	音読を楽しもう 平家物語	枕草子	鍵	走れメロス	落葉松	字のない葉書	盆土産	世界で一番の贈り物	言葉の力	短歌を味わう	新しい短歌のために	アイスプラネット	見えないだけ	教材 
146	142	133	132	32	234	192	176	106	92	76	70	68	64	18	16	
✳	✳	✳	✳	✳	✳		✳					✳	✳		✳	音読・朗読 作品の特徴を生かす
							✳		✳	✳		✳	✳	✳	✳	語句の意味の理解 心情を表す語句
				✳	✳	✳	✳	✳	✳	✳		✳				文章の理解 描写の効果
	✳	✳				✳		✳	✳	✳					✳	人物の言動の意味
						✳			✳	✳						自分の考えをもつ 構成や展開について
✳						✳	✳					✳				表現の特徴について根拠 を明確にしてまとめる
	✳	✳							✳	✳	✳	✳	✳	✳	✳	文章を読み、ものの見 方や考え方を広げる
											✳					読書と情報 本を読み、 引用しながら紹介する
学習のポイント ●印は、「学習の窓」で 解説している事柄																
● 漢詩に歌われている情景を想像し、心情に触れる																
● 作者のものの見方や考え方に触れる																
● 古文の言葉の響きを楽しむ																
● 文章に描かれたものの見方や考え方に触れる																
● 作者のものの見方や感じ方を自分と比べる																
● 言葉の意味を考えながら、作者の思いを捉える																
● 人物像の変化を捉える																
● 表現のしかたに着目して読む																
● 心情の描き方に着目する																
● 時間の経過や出来事に着目する																
● 構成や場面展開の工夫に着目する																
● 筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める																
● 歌われている情景や作者の思いを想像する																
● 短歌の世界に親しむ																
● 登場人物の関係を捉える																
● 気持ちが変わるように声に出して読む																

漢字			言葉				文法			言葉			
漢字の練習 小学校六年生で学習した漢字	漢字3 送り仮名	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	漢字1 熟語の構成	言葉3 方言と共通語	言葉2 敬語	言葉の力	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	言葉1 類義語・対義語・多義語	文法3 付属語	文法2 用言の活用	文法1 自立語	一年生の復習	教材
257	226	128	39	216	125	70	69	61	211	178	240	238	
						✳	✳	✳					言葉の理解 意味に着目する
				✳	✳	✳							性質・働きを理解する
													言葉の決まり 文の成分
									✳		✳	✳	単語の種類
										✳			単語の活用
									✳		✳		単語の働き
	✳	✳	✳										漢字 漢字に関する知識
	✳	✳	✳										漢字を読む
✳													漢字を書く

いつも気をつけよう

一年生で学習した主な内容を示している。学習を進めるときや日常の生活の中で意識していこう。



話すとき

- 声の大きさや速さ、間の取り方に気をつけて話す。
- 事実と意見の關係に注意して、わかりやすい話の構成を工夫する。
- 相手の反応を踏まえて話す。

聞くとき

- 必要な情報を的確にメモに書き留める。
- 自分の考えや体験と比べたり関連づけたりしながら聞く。
- 質問して、話の内容を確かめたり、もっと知りたいことを尋ねたりする。

話し合うとき

- 話題や方向を捉えて話し合う。
- 意見と根拠を整理して発言する。
- 相手の発言を聞いて、考えをまとめる。



書くとき

- 振り返りやすいノートや記録を工夫する。
- 課題設定・情報整理
- 目的・相手をはっきりさせる。
- 観点を立てて情報を整理・分類する。

構成・記述

- 段落の役割を考えて、構成を工夫する。
- 自分の考えや気持ちを、根拠を明確にして書く。
- 図表やグラフなどを効果的に使う。
- 引用する場合は出典を明示する。

推敲・交流

- 表記や、語句の使い方などを確かめる。
- 文章を読み合い、読みやすくしたり友達への書き方を参考にしたりする。



文学的な文章を読むとき

- 文脈の中の語句の意味を捉える。
- 場面の展開に着目して読む。
- 登場人物の言動や情景を表す描写に着目して、心情を捉える。
- 表現の特徴について考える。

説明的な文章を読むとき

- 段落の役割や關係に着目して読む。
- 序論・本論・結論など、文章の構成に着目して読む。
- 文章の中心とそれを支える部分、事実と意見の關係に注意して読む。
- 文章と図表との関連を考えて読む。
- 目的に応じて、文章の要旨をまとめる。
- 構成や展開の工夫について考える。

続けてみよう



情報メモ

身の回りや地域社会の中で見聞きしたことから、疑問に思ったことや関心をもったことを書き留めよう。新聞記事などの切り抜きをはってもよい。

日付	〇月〇日
気になったこと	「〇〇市は、4年後の〇〇大会に向けて、道路などのバリアフリー化を進め、『人に優しい街づくり』を目ざす。」 (〇月〇日の〇〇新聞)
疑問・感想	☆「人に優しい街づくり」とは？ 道路などを整備するだけでいいのかな。 → <u>心のバリアフリー化</u> ☆〇〇大会の後はどうなるのかな。 これをきっかけに、街の整備も続いていくといい。


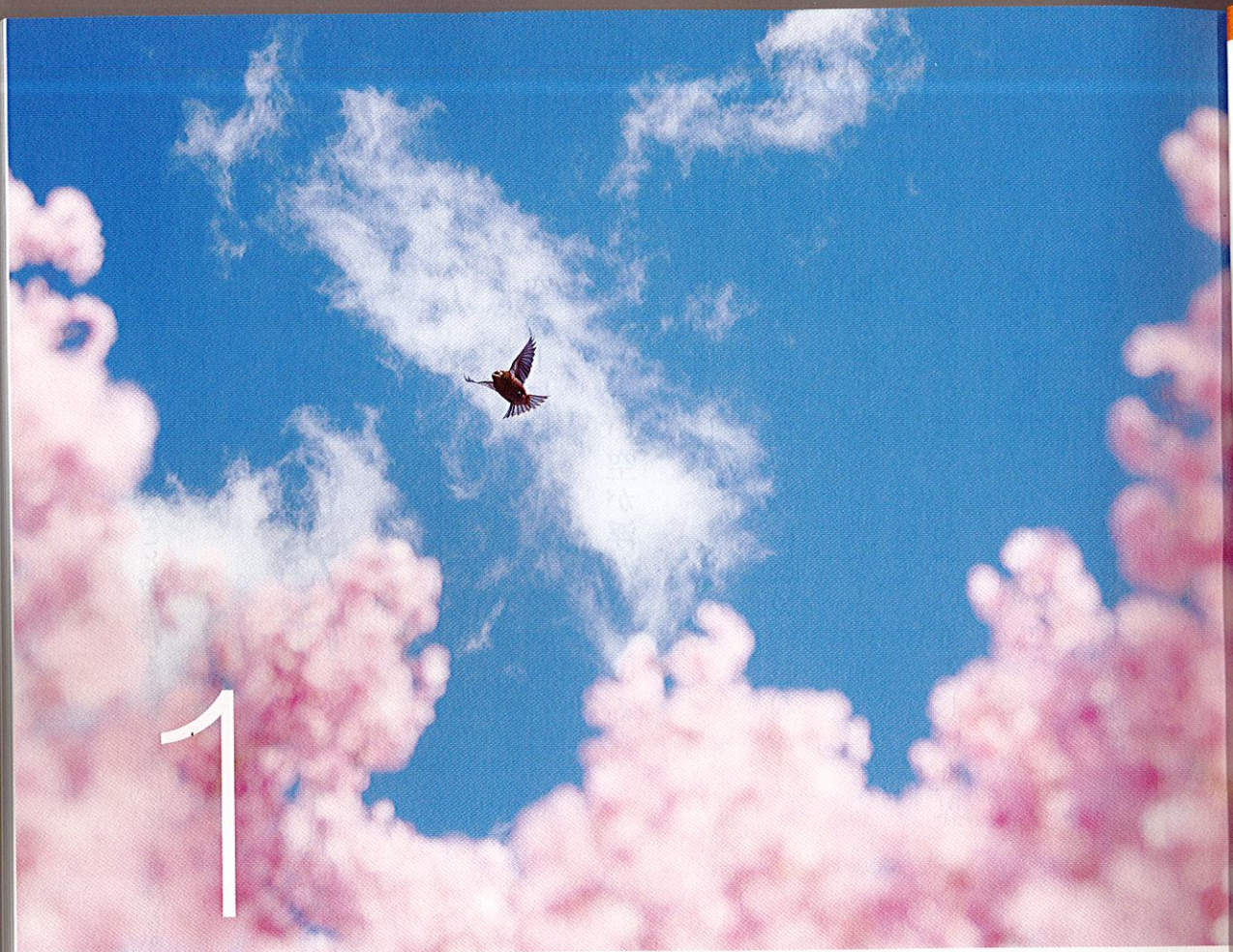
気になるニュースや心に残る出来事に出会ったら、書き留めておこう。次の例を参考に、一年間、自分なりの記録を続け、折に触れて紹介し合おう。

創作メモ

体験したことや心を動かされたことを基に、詩や短歌、物語の素材を書き留めたり、創作したりしてみよう。

日付	〇月〇日
作品	「先輩」の声にとまどい隠しつつ サブ打っ手に力を込める
コメント	この前、初めて「先輩」と呼ばれた。 気恥ずかしいような、うれしいう な、不思議な気持ちになった。

〇月〇日	詩
小さな花園	帰りの道
曲がり角に見つけた	赤むらさきの……

1

広がる学びへ

さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく

詩

見えないだけ

牟礼慶子

小説

アイスプラネット

椎名誠

練習 ⑤ 要点を整理して聞き取る

季節のしおり 春

古文

枕草子

清少納言



多様な方法で情報を集めよう
職業ガイドを作る

漢字1 熟語の構成

●好きな表現を見つけ、感じたことが伝わるように声に出して読もう。

見えないだけ

牟礼慶子

空の上には

もっと青い空が浮かんでいる

波の底には

もっと大きな海が眠っている

胸の奥で

ことばがはぐくんでいる優しい世界

次の垣根で

蕾をさし出している美しい季節

少し遠くで

待ちかねている新しい友だち

あんなに確かに在るものが

まだここからは見えないだけ

きたざわけんじ・絵



作者 牟礼慶子 一九二九(昭和四) — 二〇二二(平成二四)
東京都出身。詩人。
著書 詩集「来歴」「魂の領分」「夢の庭へ」など。
出典 「ことばの冠」

【新出漢字】

16 垣

かき

石垣

アイスプラネット

椎名 誠



目標

- 登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。
- 登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。

僕のおじさんは「ぐうちゃん」という。津田由起夫三十八歳。いそうろう。

僕の母親の弟だ。いつも母に怒られている。学生の頃に外国のいろんな所を旅していたらしく、気づいたときには僕の家に住み着いていた。そして、長いこと「ぐうたら」しているから、いつのまにか「ぐうちゃん」というあだ名になってしまった。でも、ぐうちゃんは変わった人で、そう言われるとなんだかうれしそうだ。それを見て僕の母はまた怒る。怒るけど「これ、ぐうちゃんの好物。」なんて言いながら、ご飯の支度をしているから母もちょっと変わっている。

僕の家は東京の西の郊外にあって、父の祖父が建てた。古い家だけれど、ぐうちゃんが「いそうろう」できる六畳間があって、そこでぐうちゃんは「ぐうたら」している。父は単身赴任で仙台せんだいにいて、週末に帰ってくる。ぐうちゃんがいると何か力仕事が必要になったときに安心だから、と言って、父はぐうちゃんのいそうろうを歓迎しているみたいだ。

ぐうちゃんは、家にいるときはたいがい本を読んでいるか、唯一のタカラモノであるカメラの掃除、点検などをしている。全く「ぐうたら」ばかりでもなくて、たまに一週間ぐらい

2 漢 怒る

8 漢 郊外

9 漢 単身赴任

12 漢 唯一

留守にするときもある。ぐうちゃんにきくと、そんなときは、全国を回って測量の仕事をしているという。一度、家を持って帰った測量の道具を見せてもらったけれど、すごく精密な望遠鏡という感じだった。レンズの中をのぞくと中にいっぱい目盛りが付いていて、ダイヤルでピントを合わせる。いかにもプロの人の道具みたいで格好いい。かといって、ぐうちゃんは、測量の専門家でもないらしい。僕の母は、ぐうちゃんのそういう落ち着かない仕事のしかたが気に入らないようだ。「ちゃんと就職して早く独立しなさい。そうして『いそうろう』から卒業しなさい。」といつも怒る。

当のぐうちゃんは、母に怒られても、「でもまあもう少し。」などと訳のわからないことを言う。すると、母は今度は僕に向かって、「ぐうちゃんみたいな大人になってはだめだからね。」と言う。本当に文句ばかりだ。

そんな「ぐうちゃん」けれど、僕はぐうちゃんが大好きだ。ぐうちゃんの話は文句なしにおもしろいのだ。母は、「みんなほら話なんだからそんなのを聞いている暇があったら勉強していなさい。」と言うけれど、宿題をするよりよっぽどおもしろい。だから、僕がぐうちゃんの話を知るときはたいがいぐうちゃんの部屋に行く。

その日も、夕食の後に僕はぐうちゃんの部屋でほら話を聞いていた。でっかい動物の話だった。

「悠君。世界でいちばん長い蛇は何だか知っているか。」

ぐうちゃんは、細い目をめいっばい見開くようにして僕にきた。それは、いつもおもしろい話をするときのぐうちゃんの癖で、だから、僕はぐうちゃんその表情が好きだ。でも、

1 測量 工事や地図作成などのため、機器を使って土地の形状や面積などを測定すること。

3 ダイヤル ここでは、レンズのピントを合わせるためのつまみのこと。

2 精密

4 いかにも

今日は話のテーマがちよっと幼稚すぎる。とはいえ、宿題するよりはずっとおもしろそうだから、母に見つかるまでその話を聞いていることにした。

「アナコンダとかいうやつだね。アフリカの密林あたりにいる。」

「悠君は地理に弱いんだなあ。アナコンダがいるのはアマゾンだよ。現地の人はスクリージュとよんでいて、これはポルトガル語で水蛇という意味だ。長く太くなりすぎて蛇行するには地球の重力が負担になって水に入ったんだ。」

「泳いでいて出会ったら嫌だな。飲み込まれちゃいそうさ。」

「そう。本当に人間なんか簡単に飲み込んでしまう。生きている馬だって飲み込んだじゃうんだぞ。」

ぐうちゃんの話はいつも怪しい。僕がおもしろがればいいと思っっているのだ。

「そんなのうそだろ。だって馬の背は人間よりはるかに高いし、体重だって普通五百キロはあるって何かの本で読んだよ。アナコンダがいくら大きいといってもそんな大きな口は開けられないだろ。ありえねえ。」

「ありえねくないんだよ。」

ぐうちゃんは変な言い方をした。

「立っている馬をそのまま大口を開けて飲み込むわけじゃないんだ。まず馬の首のあたりにかみついて馬をひっくり返す。それから馬の体に巻き付いて馬の脚の骨をバキバキ折っていく。飲み込みやすいように全体を丸くしていくんだなあ。それから、ゆっくり、飲んでいくんだ。」

本当かなあ。力の籠もった話し方を聞いていると、うっかりぐうちゃんのほら話の世界に

3 アナコンダ 南アメリカ大陸に生息する大形の蛇。鋭い歯をもち、水辺の動物を捕食する。

4 アマゾン 南アメリカ大陸北部を流れるアマゾン川のこと。流域には密林地帯が広がっている。

5 蛇行意

11 はるかに

7 漢 嫌

10 漢 怪しい

17 漢 脚

4 ナマズ 頭部と口が大きく、四本の口ひげをもつ淡水魚。体長は普通、五十センチメートル程度。



取り込まれてしまいそうになる。でもその怪しさがやっぱりおもしろい。

「悠君。アマゾンの動物はみんな大きいんだ。ナマズもでっかいのがあるぞ。どのくらいだと思う？」

どうせほら話だから僕も大きく出ることにした。

「そうだね。じゃ一メートル！」

「ブッブー。」

外れの合図らしいけど、まるっきり子供扱いだ。

「アマゾンでは普通に三メートルのナマズがいるよ。」

「うそだあ。ありえねえ。」

さすがに頭に来た。僕を小学生ぐらいと勘違いしているんだ。

「うそじゃないよ。口の大きさが一メートルぐらいだよ。」

ぐうちゃんはまた細い目になった。僕をかかって喜んでいる目だ。

10 漢 子供扱い

15 漢 勘違い

「ふうん。」

なんだかばかしくなったので気のない返事をした。

「あ、信じてないだろう。じゃあがらっと変わって、きれいで小さい宇宙の話しようか。」
 ぐうちゃんは話の作戦を変えてきた。宇宙の話は好きだ。例えば宇宙には果てがあるのか、とか二重太陽のある星の話とかだ。ところが、ぐうちゃんの話は、地球の中の宇宙の話だった。「北極には、一年に一度流水が解けるときに小さな氷の惑星ができるってイヌイットの間ではいわれている。アイスプラネットだ。めったに現れないので、それを見た者はその年いいことがいっぱいあるといわれている。」

「童話か何かの話？」

「いや、本当にある話だよ。見ることできた者を幸せにするという、地球の中にある小さな小さな美しい氷の惑星。いい話だろ。」

「やっぱりありえねえ。俺、風呂の時間だし。」

ぐうちゃんは続けて話したそうだったけれど、母親が風呂に入ると大きい声で呼んだので、それを口実に逃げることにした。ぐうちゃんは、やっぱり今どきの中学生をなめているのだ。

翌日、学校に行く途中で、同じクラスの吉井と今村に会った。初めはどうしようかと思っただけど、馬も飲んでしまっただけかアノコンダや、三メートルもあるナマズの話はおもしろかったし、氷の惑星の話も、本当だったらきれいだろうなと思ったから、つい吉井や今村にその話をしてしまった。二人は僕の話が終わると顔を見合わせて、「ありえねえ。」証拠見せるよ。」と言った。「そんなほら話、小学生でも信じないぞ。」そう言われればそうだ。だ

6 イヌイット アラスカ北部からカナダ北部、グリーンランドに居住する民族。

7 めったに……ない

14 口実

14 漢 逃げる

4 紙焼き フィルムやデジタルデータの写真を、専用の紙に焼き付けたもの。

から、部活が終わって大急ぎで家に帰ると、僕は真っ先にぐうちゃんの部屋に行って、「昨日の話、本当なら証拠の写真を見せろよ。」と無愛想に言った。ぐうちゃんは少し考えるしぐさをして、「そうだなあ。」と言って、目をパチパチさせている。

「これまで撮ってきた写真をそろそろちゃんと整理して紙焼きにしないと、と思っているんだ。そうしたらいろいろ見せてあげるよ。」

むっとした。そんな言い逃れをするぐうちゃんは好きではない。なんかぐうちゃんに僕の人生が全面的にからかわれた感じだ。吉井や今村に話をした分だけ損をした。いや失敗した。僕までほら吹きになってしまったのだ。

それから夏休みになってすぐ、ぐうちゃんはいつもと少し長い仕事に出た。関東地方の各地の川の測量をするということだった。僕は人生を全面的にからかわれて以来、あまりぐうちゃんの部屋に行かなくなっていたから、気にも留めなかった。

夏休みも終わり近く、いつものように週末に帰ってきた父と母が話しているのが、風呂場にいる僕の耳にも入ってきた。

母は、珍しくビールでも飲んだらしく、いつもよりもっと強烈に雄弁になっている。

「僕たちは、都市のビルの中にいるからなかなか気がつかないけど、由起夫君は若い頃に世界のあちこちへ行っていたから、日本の中にいたら気がつかないことがいっぱい見えているんだらうね。なんだか羨ましいような気がするな。」

20

15

10

5

20 極端

4 漢 撮る

8 漢 ほら吹き

17 漢 雄弁

ていったとしたら、どう責任取ってくれるのかしら。」
 父が何かを答えているようだったが、はっきりとは聞こえなかった。ただ、僕のことぐ
 うちゃんが責められるのは少し違う気がする。そう思うと、電気の消えたぐうちゃんの部屋
 が急に寂しく感じられてきた。

それから、ぐうちゃんがまた僕の家に戻ってきたのは、九月の新学期が始まってしばらく
 した頃だった。顔と手足が真っ黒になっていて、パンツ一つになると、どうしても笑いたく
 なって困った。

残暑が厳しい日だった。久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思った。またからか
 われてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたい感じた。

ところが、ぐうちゃんの話は、でっかい動物のでも、暑い国のでも、寒い国の話でもなかった。
 「旅費がたまったから、これからまた外国をふらふらしてくるよ。」

ぐうちゃんは突然そう言った。「でもまあもう少し。」にはこんな意味があったのか。ぐう
 ちゃんはいつもと変わらずに話を続けている。それなのに、ぐうちゃんの声はどんどん遠く
 なっていく。気がつくとき、僕はぶっきらぼうに言っていた。

「勝手に行けばいいじゃないか。」

ぐうちゃんは、そのときちょっと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃ
 んを残して僕は部屋を出た。

それ以来、僕は二度とぐうちゃんの部屋には行かなかった。母は、そんな僕たちに、あき
 れたり慌てたりしていたけれど、父は何も言わなかった。

12 漢 トツ
突然

19 漢 あわ
慌てる

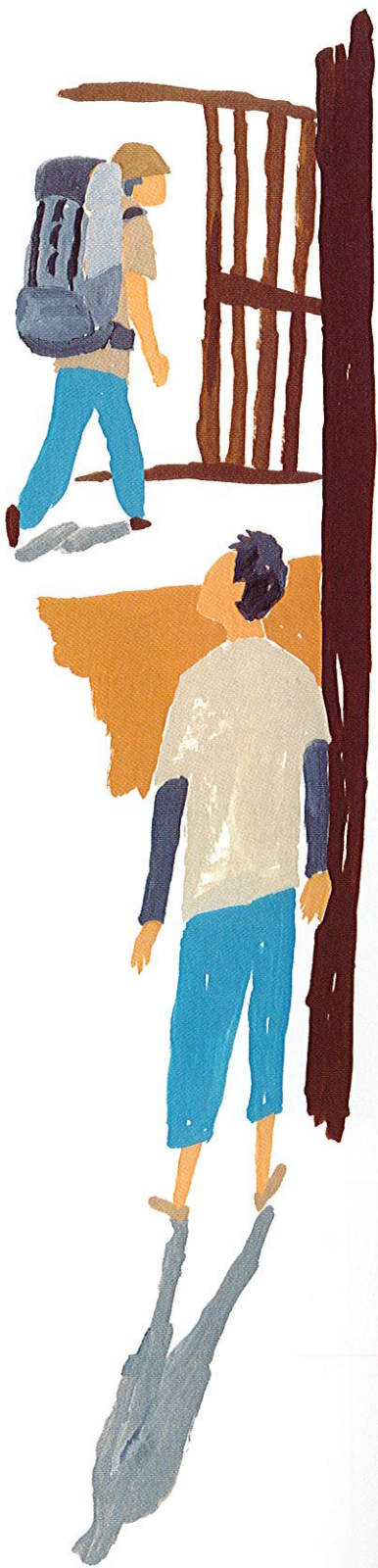
十月の初めに、ぐうちゃんは小さな旅支度をして「いそろう」を卒業してしまった。

出発の日、僕は、何て言っているのかわからないままぐうちゃんの前立っていた。ぐう
 ちゃんは僕に近づき、あの表情で笑った。そして、何も言わずに僕の手を握りしめ、力の籠
 もった強い握手をして、大股で僕の家を出ていった。

「ほらばっかりだったじゃないか。」

「いそろう」がいなくなってしまった部屋の前で、僕はそう思った。

ぐうちゃんから外国のちよつとしゃれた封筒で僕に手紙が届いたのは、それから四か月ぐ
 らいたってからだだった。珍しい切手がいっぱい貼ってあった。



4 漢 また
大股

7 漢 フウ
封筒

8 漢 は
貼る

「あのときの話の続きだ。以前若い頃に、北極まで行ってイヌイットと暮らしていたことがあるんだ。そのとき、アイスプラネットを見に行こう、と友達になったイヌイットに言われてカメラで北極海に出た。アイスプラネット。わかるだろう。氷の惑星だ。それが北極海に本当に浮かんでいたんだ。きれいだったよ。厳しい自然に生きている人だけが目にできる、もう一つの宇宙なんだな、と思ったよ。地上十階建てのビルぐらゐの高さなんだ。そして、海の中の氷は、もっともっとどっかい。悠君にもいつか見てほしい。若いうちに勉強をたくさんして、いっぱい本を読んで、いっぱい『不思議アタマ』になって世界に出かけていくとおもしろいぞ。世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいことで満ち満ち

20

15

10

5



ている。誰もが一生懸命生きている。それこそありえないほどだ。それを自分の目で確かめてほしいんだ。」

手紙には、ぐうちゃんの力強い文字がぎっしり詰まっていた。

そして、封筒からは写真が二枚出てきた。一枚は人間の倍ぐらゐあるでっかいナマズの写真。もう一枚は、北極の海に浮かぶ、見た者を幸せにするという氷の惑星の写真だった。

浅妻健司・絵

5



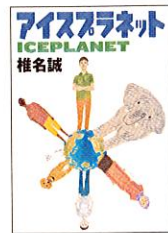
作者 椎名誠 一九四四（昭和一九）—— 東京都出身。小説家・映画監督。
 著書 「わしらは怪しい探検隊」「岳物語」「白い手」「大きな約束」など。
 出典 本書のための書きおろし。

【新出漢字】

- | | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 20 怪 <small>あやししい</small> 怪談 | 18 怒 <small>おこる</small> 怒号 | 18 郊 <small>コウ</small> 近郊 | 18 赴 <small>おもむく</small> 赴任 | 18 唯 <small>ユイ</small> 唯一 |
| 23 吹 <small>ふく</small> 吹奏楽 | 20 脚 <small>あし</small> 脚本 | 21 扱 <small>あつかう</small> 取り扱う | 21 勘 <small>カン</small> 勘当 | 22 逃 <small>のがす</small> 逃走 |
| 25 貼 <small>はる</small> 切手を貼る | 23 雄 <small>オス</small> 雄花 | 24 突 <small>つとく</small> 手を突く | 24 慌 <small>あわてる</small> 大慌て | 25 股 <small>また</small> 股関節 |
| | 27 詰 <small>つめる</small> 荷物を詰める | | | |
| | | | | 25 封 <small>ホフウ</small> 開封 |
| | | | | 23 撮 <small>とる</small> 撮影 |
| | | | | 20 嫌 <small>いやがる</small> 機嫌 |



「岳物語」椎名誠



「アイスプラネット」椎名誠



3 詰まる



目標

- 登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。
- 登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。

「ぐうちゃん」に対する「僕」の言動に着目して、二人の関係や心情の変化について、感じたことや考えたことを話し合ってみよう。

1 確認しよう

「ぐうちゃん」に対する「僕」、「母」、「父」それぞれの思いがわかる会話や行動を挙げてみよう。

2 読みを深めよう

「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いがどのように変わっていくかを読み取ろう。

① 「ぐうちゃん」のほら話に対する「僕」の考えは、どのように変わっていったらだろうか。

② 「僕」は、なぜ「勝手に行けばいいじゃないか。」(24ページ15行目)と言ったのだろうか。

③ 「ぐうちゃん」から手紙と写真を受け取ったときの「僕」の気持ちを、「ぐうちゃん」の考えや思いを踏まえながら想像してみよう。

3 自分の考えをもとう

「ぐうちゃん」の考え方や生き方について、自分の生活や経験などとは比べながら感想をまとめてみよう。

言葉を広げる

作品中から、人物の生き生きとした様子が感じられる表現を探し、なぜそう感じられるのかを話し合ってみよう。

学習の窓

登場人物の関係を捉える

物語や小説では、人物の関係(相手をどう思うか、相手は自分にとってどのような存在かなど)を捉え、それがどのように変化していくかを読み取ることが大切である。次のような言動などを表す部分に着目し、場面の展開に沿って関係の変化を考えていく。

- ・ 会話(誰の誰に対する言葉かを確認しながら読む。)
- ・ 様子や表情、行動を表す表現(会話の前後に着目。)
- ・ 心の中を語っている部分

学習を振り返る

- 「僕」の思いはどのように変わっていったか。
- 「ぐうちゃん」の考え方や生き方をどのように考えたか。

漢字を確認しよう

・ は中学校で学習する音訓 308

新しく習った漢字

1 次の 線部の言葉を読もう。 【漢字の読み】

- ① (ア)うちの犬は雄だ。 [] []
- (イ)雌雄を決するときだ。 [] []
- ② (ア)脚光を浴びる。 [] []
- (イ)テーブルの脚。 [] []
- ③ (ア)道路を封鎖する。 [] []
- (イ)彼の考えは封建的だ。 [] []

2 次の 線部はへが部首の漢字である。 【同じ部首の漢字】

- ① <力> 勘案 [] 弾劾 []
- 勃発 []
- ② <穴> 突然 [] 窒素 []
- 窯元 []

③ <へ>

- 逃亡 [] 逸話 []
- 逝去 []

④ <口>

- 吹奏楽 [] 満喫 []
- 一喝 [] 喚起 []

新しく習う音訓

1 次の 線部の読みの違いに注意して、それぞれの熟語を読もう。 【複数の音読み】

- ① 音楽 [] 福音 []
- ② 仮面 [] 仮病 []
- ③ 散歩 [] 歩合 []
- ④ 卵黄 [] 黄砂 []
- ⑤ 境界 [] 境内 []
- ⑥ 拾得物 [] 拾万円 []

【新出漢字】

29 雌	めめシ	雌花
29 鎖	くさり	鎖をつなぐ
29 効	ガイ	弾劾
29 勃	ボツ	勃興
29 室	チツ	窒息
29 窯	かま	窯出し
29 逸	イツ	逸材
29 逝	セイ	急逝
29 喫	キツ	喫茶
29 喝	カツ	喝破
29 喚	カン	喚問



練習

要点を整理して聞き取る

職場体験で訪問する和菓子のお店に電話をした。



【店の人の話】

お店の場所はわかる？ そう、第三中学校からバスで来るのね。じゃあ、まず学校の前を通る市バスに乗って「さつき公園前」で降りてください。学校からだると三つ目かな。バスを降りたら、進行方向と逆の方向に戻ります。停留所の前に公園があるんだけど、……今の季節は、藤の花がきれいなよね。その公園を左手に直進ね。まっすぐ進んで三つ目、あ、違った、二つ目の交差点を右折。郵便局の角です。右折したら、次の次の交差点の横断歩道で道路の反対側に渡ってください。そこが「さつき商店街」の入り口です。うちは右側の五軒目。「和菓子・内田」っていう看板が出ています。

当日は、お菓子を包む仕事をしてもらうので、エプロンと三角巾を持ってきてね。爪は短く清潔に。髪の毛の長い人はまとめてきてください。楽しみにしていますね。

1 自分が電話をしているつもりで、上の話を聞きながらメモを取ってみよう。

2 「いっしょに職場体験をするグループの人に、電話で確認したことを伝える。」という設定で、メモを基に聞き取ったことを説明してみよう。

上達のポイント

聞くとき

- 全体的話題や話の流れに注意し、話の中心的部分とそうでない部分を聞き分ける。
- 相手の説明や指示が複雑なときは、話の要点を復唱し、確認する。
- メモを取る時
- 小見出しや番号を付けたら、図や矢印を活用したりして整理する。

166話し合って考えを広げよう

職場体験 「和菓子・内田」さん

〈お店の場所〉

- ① 学校前・市バス
- ↓ ~三つ目
- ② さつき公園前



「のどか」池田通郵

季節のしおり

春



あなたが春を感じるの、どんなときだろうか。野原を舞うちようを見たとき、かえるの鳴き声が聞こえたとき、小川の水に手をひたしたとき……。ここで紹介した作品から、春を感じ取ってみよう。

春の岬旅のはりの鷗どり
浮きつつ遠くなりけるかも

三好達治

せりなづな (ゴキョウウ) はこべら ほとけのざ
すずなすずしろ これぞ七草

作者未詳

外にも出よ触るるばかりに春の月

中村汀女

春のこよみ

- 雨水 | うすい | 降る雪が雨に変わり、土が潤い始める頃。現在の2月19日頃。旧暦の1月。
- 春分 | しゅんぶん | 昼が長くなり、夜とほぼ同じ長さになる日。現在の3月21日頃。旧暦の2月。
- 穀雨 | こくう | 穀物を育てる雨の降る季節ということ。現在の4月20日頃。旧暦の3月。